

法教育 & 地域コンテンツ



准教授 大石 玄

研究分野

労働法、知財、アニメ・マンガと地域社会

研究内容

様々な労働者の意見を集团的に集約し、職場環境を向上させていく方策を考えています。
また、アニメ等のファンらが行う、いわゆる《聖地巡礼》現象について、地域コミュニティに与える影響の考察を進めています。

私の研究のポイント

架空のコンテンツの舞台となった背景を実際に訪れて楽しむという行動様式は、2000年代に入って以降に盛んとなりました。この現象を、観光行動の派生形としてだけでなく、新たな「まちづくり」の形態として捉え、その動向について取材調査と分析を行っています。
これまでの研究成果をまとめた共著『地域×アニメ』を2019年4月に成山堂書店より上梓しました。

REPORT リポート



働く若者に知っておいてもらいたい労働法の知識を伝える教科書『18歳から考えるワークルール』の改訂版を2018年1月に出版しました。

コンテンツを地域の文化資源として育てる試みは各地で営まれています。最近では、富山県上市町＝『おおかみこどもの雨と雪』、神奈川県横須賀市＝『ハイスクール・フリート』、長野県小諸市＝『あの夏で待ってる』、香川県観音寺市＝『結城友奈は勇者である』などをフィールドとして、地域の人々と作品世界との結びつきを研究しています。